

2017年5月16日

株式会社 Stroly

位置情報に様々な表現を与える Stroly、総額 1.4 億円の資金調達を実施

株式会社 Stroly（本社：京都府相楽郡、代表取締役社長：高橋 真知 以下 Stroly [読み方：ストローリー]）は、大和企業投資株式会社、京銀リース・キャピタル株式会社、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社、中信ベンチャーキャピタル株式会社が運営する下記記載のファンドを引受先とした総額約 1.4 億円の第三者割当増資による資金調達を実施しました。今回の資金調達はシリーズ A ラウンドにあたるもので、初めての外部からの資本調達です。

■ 割当先の概要

大和ベンチャー1号投資事業有限責任組合

（運営会社：大和企業投資株式会社 本社：東京都千代田区、代表取締役：柳原藤雄）

京銀輝く未来応援ファンド投資事業有限責任組合

（運営会社：京銀リース・キャピタル株式会社、本社：京都府京都市、代表取締役：勝田 純一）

京都市スタートアップ支援投資事業有限責任組合

（運営会社：フューチャーベンチャーキャピタル株式会社、本社：京都府京都市、代表取締役：松本直人）

中信ベンチャー・投資ファンド4号投資事業有限責任組合

（運営会社：中信ベンチャーキャピタル株式会社、本社：京都府京都市、代表取締役社長：平林 幸子）

■ 資金調達の目的

Stroly では今回の資金調達により、主に以下の4つの分野への投資を行います。

1. ビジネス利用の促進

Stroly は既に企業・自治体などに、Stroly をこれまでにない販促・認知拡大のツールとして採用されています。企画営業の人的リソースへの投資を行い、更なるビジネス利用の促進を図ります。

2. Stroly 利用者の拡大

Stroly を使えば誰でも簡単にオリジナル地図を作成しアップロードできます。自作の地図を共有する楽しさをより多くの人に知って頂くために、情報発信や他メディアとの連携を強化します。

3. 多様な地図の提供

従来の地図表現にとらわれない多様な表現が体験できるよう、様々な地図を Stroly で提供します。

4. サービスや機能の向上

現在 α 版として公開中の Stroly を、β 版へのバージョンアップをするなど、更なる利便性と楽しさの向上を目指します。その担い手となるエンジニアを採用します。

■ Stroly とは

Stroly (ストロリー) α 版 <https://stroly.com/>

地図アプリが登場して以来、わたしたちの手元には自分の位置情報があることが当たり前になりました。多くの地図サービスが、「いまどこにいるのか」という一元的な情報を提供し目的地に向かうための正確なツールとして機能しているのに対して、Stroly は地図を通して多様なストーリーを体験できるプラットフォームを目指しています。

Stroly は、地図を通じて、世界中の人々の多様な世界の見え方がシェアされることを促進します。

■ 会社概要

社名 : 株式会社 Stroly

URL : <https://stroly.jp>

本社所在地 : 京都府相楽郡精華町精華台 7-5-1 けいはんなイノベーションセンター (KICK 内)

代表取締役 : 高橋 真知

■ 本件に関するお問い合わせ先

担当者名 : (財務担当:岩崎、広報担当:桑原)

Email : info@stroly.jp